

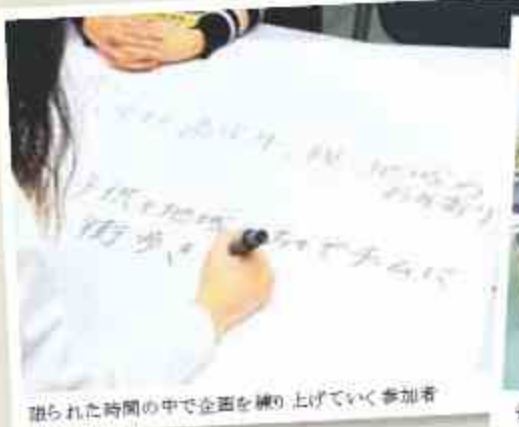
第4回セミナー かたってみよう！ まちづくり

①熊本日日新聞社・本館4階会議室

「くまにちすばいす」で隔週掲載中の「まちづくり探検隊」の紙面を通じて地域活動やまちづくりに興味を持った方を対象に開催してきました。かたってみよう！まちづくり。最終回となる第4回は、前回(2018年12月1日開催)作成した地域版ハザードマップを、まちづくりにどう生かすかを考えるワークショップを行いました。



この日参加した受講生全員で記念撮影！年齢や立場を超えて、まちづくりについて話し合った「同志」



限られた時間の中で企画を練り上げていく参加者



各グループのプレゼンテーションを聞きながらメモを取る人も



vol. 23

もっと知りたい！熊本市 KUMAMOTO CITY

まちづくり探検隊

特別編

考えよう！
身近な防災
Part.3

地域版ハザードマップの 活用法を考えよう！

1 月20日、熊本日日新聞社・本社4階会議室で開催した第4回セミナー。第2回から3回シリーズで行った「考えよう！身近な防災」では、「防災」の視点から地域を見つめ、町内や校区内の危険箇所などの情報を地図に落とし込む地域版ハザードマップ作りに取り組みました。

今回は、シリーズの総仕上げとして、作った地域版ハザードマップを、「まちづくりに、どのように活用するか」を参加者に考えてもらおうワークショップを実施。初めに、一般・学生合わせて17人の参加者を前に、講師・フアシリテーターを務める水野直樹さんが、市内各校で実践されている「まちづくり」の実例や、それがもたらした地域への効果などを紹介しました。

「防災」の4つのテーマでグループに分かれ、それぞれのテーマと地域版ハザードマップを関連付けたイベントや地域ぐるみの取り組みの企画に挑戦。各班のプレゼンテーションを聞いた水野さんからは、「実際に地域で実現できそうな企画ばかり」と驚きの声が上がった。4回のセミナーを通じて、まちづくりに関心を持ち、それを自分の地域で実践することを学んだ皆さんの「本気」が感じられるセミナーとなりました。

地域版ハザードマップの 活用法を参加者が「企画」

その後のワークショップでは、参加者から挙がった「高齢者支援」「子どもたちの防犯」「多世代交流」

過去3回のセミナー・ダイジェスト

第3回・12/1(土)開催
テーマ「考えよう！身近な防災Part.2
～地域を歩いてハザードマップを作ってみよう！～」

第3回セミナーでは、前回学んだ「地域版ハザードマップ」についての知識をより深めるために、熊本市各区の総務企画課職員のアドバイスを受けながら実際に地域を歩き、危険箇所を探して地図に落とし込むフィールドワークを行いました。普段何げなく通っている道や地域の地形に思わぬ危険が潜んでいることを知り、ハザードマップの必要性を痛感しました。



第2回・9/9(日)開催
テーマ「考えよう！身近な防災Part.1
～ハザードマップで災害を「見える化」～」

第2回からは、熊本地震を経験した私たちにとって最も身近な地域課題ともいえる「防災」をテーマにした3回シリーズのセミナーを展開。Part.1では、小学校PTA主催の防災キャンプや消防団活動など、地域で行われているさまざまな取り組み事例の発表に加え、地域防災に欠かせない「地域版ハザードマップ」の重要性と、その作り方を学びました。



第1回・7/8(日)開催
テーマ「どう守る？子どもの安全」

地域にとっても家庭にとっても大切な「子どもの命」をテーマに取り上げることで、自分と地域との関わりをより身近に感じてもらうと開催。グループに分かれて行ったワークショップでは、地域で子どもの見守りをするためにどんな人が関わり、どんな方法で行えばいいかなどについて、キーワードや具体策を発表し合いました。

